

CA Chorus™

リリースノート

バージョン 03.0.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、
(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- CA ACF2
- CA Chorus™
- CA Chorus™ for DB2 Database Management
- CA Chorus™ for Security and Compliance Management
- CA Chorus™ for Storage Management
- CA Chorus™ Infrastructure Management for Networks and Systems
- CA Chorus™ Software Manager
- CA Compliance Manager
- CA DSI Server
- CA LDAP Server
- CA NetMaster NM for TCP/IP
- CA SYSVIEW
- CA Top Secret
- CA Vantage

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

マニュアルの変更点

以下のマニュアルの更新は、本書の前回のリリース以降に行われたものです。

- [新機能](#) (P. 7) -- このリリースに追加された機能です。
- 既知の問題を「*Troubleshooting Guide*」に移動しました。
- [技術情報コンテンツの考え方](#) (P. 23) -- このトピックを追加しました。
- [サードパーティの使用許諾契約書](#) (P. 19) -- CA Chorus マニュアル選択メニューの TPSA サブフォルダ内の TPSA テキスト ファイルを参照するためにこの付録を更新しました。
 - Adobe Flex SDK -- このライセンスを追加しました。
 - Apache CXF 2.5.6 -- このライセンスを追加しました。
 - Errai 2.2.0 ライセンス -- このライセンスを追加しました。
 - GWT Highcharts 1.4.0 ライセンス -- このライセンスを追加しました。
 - H2 1.3.168 ライセンス -- このライセンスを追加し、H2 1.3.162 ライセンスを削除しました。
 - jQuery 4.0 ライセンス -- このライセンスを追加しました。
 - Saxon-B 9.1.0.8 ライセンス -- このライセンスを追加しました。
 - Apache 2.0 ライセンス下のソフトウェア -- Errai 2.0.2、Apache CXF 2.5.6、Commons Logging 1.1.1、Commons Net 2.0、Flex mojos 3.9、httpClient 4.2、Saxon-B 9.1.0.8 を追加しました。
 - Eclipse 1.0 ライセンス下のソフトウェア -- H2 1.3.168 を追加しました。
 - LPGL 2.1 ライセンス下のソフトウェア -- Teiid 8.1 を追加しました。
 - Mozilla v1.1 Public License 下のソフトウェア -- Saxon-B 9.1.0.8 を追加しました。

目次

第 1 章: 新機能	7
CA Chorus.....	8
CA Chorus Software Manager.....	12
CA Chorus for DB2 Database Management.....	12
CA Chorus for Security and Compliance Management.....	14
CA Chorus for Storage Management.....	15
CA Chorus Infrastructure Management for Networks and Systems.....	16
第 2 章: 公開されている修正および既知の問題	17
付録 A: サードパーティの使用許諾契約書	19
第 3 章: アクセシビリティ機能	21
概要.....	21
代替テキストおよびユーザのブラウザ.....	22
技術情報コンテンツの考え方.....	23

第 1 章：新機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Chorus](#) (P. 8)

[CA Chorus for DB2 Database Management](#) (P. 12)

[CA Chorus for Security and Compliance Management](#) (P. 14)

[CA Chorus for Storage Management](#) (P. 15)

[CA Chorus Infrastructure Management for Networks and Systems](#) (P. 16)

CA Chorus

このリリースには、以下の新しい拡張機能が含まれています。

ナレッジシェアリング

- ダッシュボード（従来のワークスペース）を作成すると、すぐに同僚とそれを共有することができます。反対に、共有ダッシュボードをインポートできます。この機能によりナレッジ転送が促進され、ダッシュボードの作成に費やす時間と労力を最小化できます。
- [Investigator Details] ペイン内のビューを作成し共有できます。さらに、[Details] ペインで新しいタブを作成できます。そうすることで、ユーザのサイトに最も重要なフィールドを強調表示できます。
- これで自分のノートとパブリック ノートを **Knowledge Center** にインデックス付けでき、他のユーザが経験を共有することができます。

新しいツール

- クイック リンク モジュールのオプションとして [CA Chorus Software Manager](#) (P. 12) を追加しました。この製品を含めることで、CA Chorus の内部から製品および保守作業をすべて管理できます。CA Mainframe Software Manager™ (CA MSM) は、CA Chorus™ Software Manager (CA Chorus™ Software Manager) に名前変更され、CA Chorus look-and-feel を採用します。
- TextBox モジュールを追加しました。それにより、カスタマイズ可能なラベルをダッシュボード内のモジュールに追加できます。そうすることで、モジュールを識別でき、データを迅速に検索できます。
- Policy Status Light モジュールを追加しました。これにより、モニタするオブジェクトおよびポリシーのカスタマイズ ビューを作成できます。このモジュールにより、ポリシーが適合する場合にそれを視覚的に明示する仕組み提供されます。さらに、ポリシーに対するシステム パフォーマンスに基づいて、アラート モジュールへのアラートを生成できます。
- Web アプリケーション モジュールを追加しました。それにより、Web アプリケーションをダッシュボードに迅速に追加することができます。そうすることで、ダッシュボードをさらにカスタマイズして最も効率的な方法でデータを表示および管理することができます。

操作性の向上

- 初期設定をより迅速に行い、リソースの消費も削減するためのサポートを追加しました。
- すべてのモジュールに対する完全な画面ビューのサポートを追加しました。
- アラート モジュールにツールバーを追加しました。このツールバーは、検索クエリおよびフィルタ アラートの作成、アラートのチャートとしての表示および分析、アラートのリフレッシュ、ノートの管理、およびアラートのさまざまなファイル形式へのエクスポートに役立ちます。
- 時間スライダを TSF グラフおよびダッシュボード グラフに追加しました。
- Visualizer の名前を Topology Viewer に変更しました。新しいカラーコードは、システム データの健康状態を評価するのに役立ちます。これでカスタマイズされたトポロジ ビューを観点またはマップとして保存し、ビューを再利用することができます。
- [Metric Panel] 設定ウィンドウには、DBA 以外のすべての規則に関する 2 つの新しいオプションがあります。

リソースによるグループ メトリック

選択したリソースに基づくメトリックを選択するのに役立ちます。

メトリック タイプによるグループ メトリック

選択したメトリックに基づくシステムを選択するのに役立ちます。

- すべてのモジュール内の継続的なスクローリングを追加しました。ページング バーはもはや必要ありません。
- Investigator の [Details] ペイン内のタブをカスタマイズできるようにするサポートを追加しました。これでユーザの責任に応じサイト固有のタブを追加し、フィールドを挿入できます。
- Investigator 内の [Data] ペイン下のステータス バーを改善しました。これにより、このバーは、データ取得時に選択された行の数、行の合計数およびタイム スタンプを表示します。ステータスバー上の [Clear] ボタンを使用して、行の選択内容をキャンセルすることができます。
- 許可されたユーザの場合は、自動リフレッシュ オプションがさまざまなモジュールで使用可能です。許可されていないユーザは、手動でデータをリフレッシュする必要があります。

- **[Getting Started]** ダッシュボードに **What's New** と製品デモのリンクを追加しました。

インストールおよび設定の拡張機能

自動設定および CA CSM ソフトウェア設定サービス

自動設定

この方法では、1つのバッチ ジョブ (ETJICUST) と 1つの設定 ファイルを編集します。その後、Java プログラムは適切なメンバに変更を伝達します。次に、手動で各ジョブをサブミットします。このオプションでは、プラットフォームおよびディシプリンを同時に設定することをお勧めします。

CA Chorus™ Software Manager

この方法では、ウィザード式の CA Chorus™ Software Manager を使用して製品を設定できます。

新しいセキュリティジョブ

ここでは、外部セキュリティ マネージャに基づく 3つの個別のセキュリティ ジョブが提供されます。ETJI095x セキュリティ ジョブによって、多くのセキュリティ要件を満たす方法が簡略化されます。x は、CA ACF2 の場合は A に、CA Top Secret の場合は T に、IBM RACF の場合は R になる場合があります。

再編成されたドキュメント

- プレインストールとインストール タスクの日付を 2つのガイド、「[サイト準備ガイド](#)」および「[インストールガイド](#)」に分けました。
- すべてのインストール タスク (プラットフォームおよび規則) は 1つの「[インストールガイド](#)」に存在します。このステートメントは、我々が以前に推奨した設定プロセスを使用する場合に適用されます。
- 「[Software Development Kit User Guide](#)」は配付が制限されます。このガイドにアクセスするには、CA 製品サイト ID に関連付けられた電子メール アドレスでサインオンします。アクセスを確認するには、システム管理者に問い合わせてください。
- 「[リリースノート](#)」には現在、CA Chorus マニュアル選択メニューの TPSA サブフォルダ内のサードパーティ ライセンスの使用許諾契約書 (TPSA) テキスト ファイルへのリンクがあります。

タイムゾーン指定

システムのタイムゾーンを設定するために TZ_OFFSET 変数を追加しました。この変数により、バックエンド製品から来るデータをカスタマイズでき、タイムスタンプが正確になります。

CA Chorus Software Manager

CA Chorus™ Software Manager (CA Chorus™ Software Manager) は、z/OS システム上の CA Technologies メインフレーム製品の管理を簡略化し統一するアプリケーションです。

CA Chorus™ Software Manager では、以下のアクションを容易にするサービスが提供されます。

- 製品の取得、インストール、展開および設定
- メンテナンスの自動取得および適用

これらのサービスにより、業界で定評ある成功事例に基づいてソフトウェアを簡単に管理できます。Web ベースのインターフェースによって、その環境のロック アンド フィールドが分かりやすくなります。このインターフェースにより、製品のインストールおよび保守をより迅速に行うことができ、エラーも減らすことができます。

CA Chorus™ Software Manager を <http://ca.com/jp/support> から取得できます。

注: 詳細については、製品のインストールに関するインストラクションおよび CA Chorus™ Software Manager オンライン ヘルプを参照してください。

CA Chorus for DB2 Database Management

このリリースでは、オブジェクト関係レポート機能が追加されます。

オブジェクト関係レポートは、削除される、削除する必要がある、または選択したオブジェクトのドロップにより無効にされるオブジェクトを識別します。そのレポートは、直接および間接的に影響を受けたオブジェクトを表示します。以下のアクションを実行できます。

- 親オブジェクト (先祖) を表示します。
- 子オブジェクト (子孫) を表示します。
- 関連するオブジェクトをすべて表示します。

バージョン 3.0 には以下の拡張機能が含まれます。

Investigator 内のカタログ オブジェクト用の DDL 生成コマンド

オブジェクト DDL

DB2 オブジェクトおよびすべての関連するオブジェクト用の DDL を生成します。オブジェクト DDL アクションは、DBA Command Manager の入力ウィンドウに選択したオブジェクトの DDL を配置します。この機能により、変更された DDL の編集や DB2 へのサブミットができます。DDL は、OBID (OBID 節) 情報の有無にかかわらず生成できます。DDL 生成は、主なオブジェクトタイプ (ストレージグループ、データベース、テーブルスペースなど) に対してサポートされています。複数のオブジェクトが選択できます。

階層 DDL

選択したオブジェクトおよびその関連するオブジェクトの DDL を DBA Command Manager for DB2 の入力ウィンドウに配置します。この機能により、変更された DDL の編集や DB2 へのサブミットができます。DDL は、OBID 情報の有無にかかわらず生成できます。DDL 生成は、主なオブジェクトタイプ (ストレージグループ、データベース、テーブルスペースなど) に対してサポートされています。

DBA Command Manager for DB2 のパフォーマンスの向上

DBA Command Manager for DB2 が機能拡張され、一時的な z/OS データセットを使用することなく単一の SELECT ステートメントを処理できるようになりました。この拡張機能によってパフォーマンスが改善され、作業データセットの作成に伴う複雑な作業が軽減されます。この結果は、Investigator 内の [Results] タブ下にグリッド (テーブル) 形式で表示されます。

CA Chorus for Security and Compliance Management

このリリースでは、CA ACF2 および CA Top Secret コンプライアンス情報分析 (CIA) でユーザ定義のフィールド (UDF) を処理するためのサポートが追加されます。フィールドのコンテンツは、ユーザ関連情報を収集するために使用できます。これらの拡張機能は、その製品で提供される更新された SAMPJCL ジョブを使用して再定義および再ロードされる既存の CIA リポジトリを必要とします。

- UDF をサポートするための CIA レポジトリ テーブルを追加しました (データ モデルおよびデータ ディクショナリを更新しました)。
- CIA バッチのアンロードおよびロードプロセスで UDF をサポートする方法を更新しました。
- 複数のシステム上の異なる UDF に対するサポートを追加しました。
- CIA CA Datacom リポジトリ内の UDF に対するサポートを追加しました。
- CIA SAMPJCL ジョブを更新しました。

CIA および CIA のユーザ定義のフィールドを実装する方法の詳細については、CA ACF2 または CA Top Secret の「*Compliance Information Analysis Guide*」を参照してください。

バージョン 3.0 には以下の拡張機能が含まれます。

- これで、Investigator を使用して、ユーザを削除できます。ユーザを削除するには、Investigator で 1 つを選択し [Actions] パネル内の [Delete User] を選択します。
- これで、Investigator を使用して、ユーザデータを変更できます。ユーザを変更するには、Investigator で 1 つを選択し [Details] ペイン内のフィールドを編集します。

CA Chorus for Storage Management

このリリースでは、**Cost Analysis** 機能が追加されます。

- この機能では、システム（強調表示異常）の自動分析が提供され、技術に関する両方の量的メトリック内の分析から情報が提示され、またコスト情報が分析に適用されます。
- この機能には、ユーザ環境のさまざまなコストおよび定量分析を提供する 1 セットの標準的なシステム分析スクリプトが含まれます。これらのスクリプトは、ストレージデータセンターコストを管理する際に役立ちます。

バージョン 3.0 には以下の拡張機能が含まれます。

- トポロジは、グラフィカルな形式でストレージリソースとのよりよい階層関係を表示するために改善されます。
- ストレージオブジェクトツリーは、データへのアクセスを改善するために再編成されます。ストレージオブジェクトツリーは、Investigator 内の [Storage] タブを選択した場合に表示されます。ストレージオブジェクトは現在、以下の新しい主なカテゴリフォルダに配置されます。
 - All Storage Solutions
 - Cost Analysis
 - Diagnostics & Investigations
 - Reports & Views Utilization
 - Statistics
 - Volumes & Utilization

注: Storage Engine Information オブジェクトは、ストレージオブジェクトツリー内の主なカテゴリフォルダ上にあります。

CA Chorus Infrastructure Management for Networks and Systems

このリリースでは、CA Chorus Infrastructure Management for Networks and Systems 規則、対話型、診断的および問題解決ツールが導入され、ネットワークおよびシステムパフォーマンスの管理が簡略化できます。規則ベースの配信モデルに焦点を当てることによって、この製品は、パフォーマンスアナリストが動作する方法を変換します。CA Chorus Infrastructure Management for Networks and Systems は、ユーザの企業の全体的な健全性を促し、リソースの基礎となる全体の最適パフォーマンスを目標としています。

CA 製品 CA NetMaster NM for TCP/IP、CA SYSVIEW Performance Management、および、CA Insight はこの方針に従って、以下の操作性機能を提供します。

- タイム シリーズ データのグラフ作成
- アラートをモニタし調査するためのユーザ設定可能なしきい値設定
- リアルタイム ネットワークおよびシステム パフォーマンスのレポート
- 状態およびイベント データへのリアルタイム アクセス
- 近接のリアルタイム パフォーマンス モニタに関するオブジェクトベースのナビゲーション
- 選択したリソースおよび関連のトポロジ表示
- インコンテキスト ドメイン ドキュメント
- 吹き出しテキスト

第 2 章: 公開されている修正および既知の問題

公表済みのすべての修正プログラムは、CA サポートの **Published Solutions** で入手できます。

重要: すべての既知の問題は、「*Troubleshooting Guide*」に記載されています。適用可能な場合、エントリにはそれぞれ回避策が含まれます。

付録 A: サードパーティの使用許諾契約書

以下の製品に関するライセンス契約が、CA Chorus マニュアル選択メニューの ¥Bookshelf¥TPSA フォルダで使用可能です。

- Adobe Flex Builder 3.0
- Adobe Flex SDK 3.6
- Apache CXF 2.2.3
- Apache CXF 2.5.6
- Apache Batik 1.7
- BIRT 2.5
- Cairngorm 2.2.1
- Errai 2.0.2
- Google Web Toolkit 2.4.0
- GWT Highcharts 1.4.0
- H2 1.3.168
- JAXB 2.1.12
- jQRangeSlider 4.0
- Lucene 3.0.0
- Nutch 1.1
- Saxon-B 9.1.0.8
- Apache 2.0 ライセンス下のソフトウェア
- CDDL ライセンス下のソフトウェア
- Common Public License
- Eclipse 1.0 ライセンス下のソフトウェア
- LGPL ライセンス下のソフトウェア
- Mozilla Public License v1.1 下のソフトウェア
- Xalan-J 2.7.1
- xml-commons xml-apis 1.3.04
- XStream 1.3.1

第 3 章: アクセシビリティ機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[概要 \(P. 21\)](#)

[代替テキストおよびユーザのブラウザ \(P. 22\)](#)

[技術情報コンテンツの考え方 \(P. 23\)](#)

概要

CA Technologies は、すべてのお客様が（能力に関係なく）製品および付属ドキュメントを活用して、それをビジネスの成功に結び付けられるように、努力しております。

セクション 508 への準拠は、製品ドキュメントがスクリーンリーダーによってアクセス可能であることを意味します。ドキュメントには以下のアクセシビリティ機能が含まれます。

- すべての見出しは、見出しをスキップせずに、構造化した階層に従います。
- テキスト内の記号の使用を制限します。
- 企業の HTML テンプレート（高度なアクセシビリティの保証に役立ちます）に従います。

- テーブル使用は制限されています。しかし、適用可能な場合、以下のルールが順守されます。
 - 空のテーブルセルには、セルが意図的にブランクであることを示す「N/A」などのテキストが含まれます。
 - テーブル見出し行は複数のページにわたり持ち越されます。
 - テーブルはセルをマージしていません。
 - テーブルには、そのテーブルが説明しているものの簡単な説明文が含まれます。
 - テーブルは縦方向でデザインされます。
- テクニカルドキュメント内のグラフィックにはすべて、視覚障害者用の代替テキストが含まれます。
 - すべてのグラフィックに対し ALT テキスト、アイコンから複雑な図およびスクリーンショット（リスト内の箇条書きを除く）が常に含まれます。
 - ALT 説明文は、50 単語以下でそのグラフの目的を簡潔に記述します。
 - グラフィックには、そのグラフが説明しているものの簡単な説明文が含まれます。
 - ALT テキストは完全な文です。
 - ALT テキストは、画像の目的について説明し、グラフの外観についてのみ説明するものではありません。
 - グラフィックには省略形または頭字語は含まれません。

代替テキストおよびユーザのブラウザ

CA Chorus ドキュメント内のグラフィックには、アクセシビリティを向上するための代替テキストが含まれます。グラフィック上にマウスオーバーしたときに代替テキストが表示されない場合は、ブラウザ設定を確認してください。

ブラウザに固有の設定および設定手順については、ブラウザドキュメントを参照してください。

技術情報コンテンツの考え方

ドキュメントは、以下の重要分野に焦点を当てて設定されます。

- キー ビジネス プロセスを完了する手順を詳述する、役割ベースのシナリオ。これらのシナリオは、従来のガイドに表示することができ、また単独のナレッジデータベース項目として<http://ca.com/jp/support>上にも表示することができます。 .
- 製品のフル ライフ サイクル全体にわたるコンテンツ（技術情報からのコンテンツ、製品管理、サポート、販売、サービス、および教育を含む）へのアクセスを提供するエンド ツー エンド ビュー エンド ツー エンド モデルに基づくマニュアル選択メニューは、従来のガイドや製品に関連するさまざまな情報源へのリンクをユーザに提供します。
- 操作性およびアクセシビリティを促進する簡潔な製品コンテンツ。